

## 2013年10月1日開催 第582回番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長、櫻井美幸副委員長、上田理恵子委員、神谷徹委員、佐藤卓己委員、佐藤友美子委員、東野博昭委員、若菜英晴委員

### ■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役、木田取締役  
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長  
柚山ラジオ局長、西村編成局長

### ◆ 報告事項

- ①ラジオ・テレビの10月改編の概要と特徴について、ラジオ局長と編成局長がそれぞれ報告した。
- ②「放送番組の種別の公表」制度に則って、平成25年度上期6か月分の番組種別ごとの放送時間を編成担当役員が報告した。合わせて、同期間のCM総量および10月以降の基本番組表についても報告した。

### ◆ 審議事項

「全国ネット番組」（ニュース・報道番組）について意見交換した。

### 各委員の主な意見は次の通り。

#### <「朝ズバッ！」について>

- \* みのもんたがいなくなったら、他に知っている人がいない。1人1人の個性が薄くなってしまっていて、みのもんたの個性の中でほかの人を見ていなかったという気がする。看板をどうしていくかは、これからの問題としてある。
- \* 関西のネタをどんどん全国へ放送していくという方法もある。関西人にとって全国区に乗るのは大きなこと、関西で制作する枠がないなら、その部分にもっと力を入れていくのも手だ。
- \* 約50人に意見を聞いた。他局を見ている人がほとんどだが、「朝ズバッ！」のわかりやすさや番組のつくり方はすごく好きだと、みのもんたが出ていなければ見たいという意見もあった。他局は、トレンドや最新情報が得られるが、この番組もそういうものをうまく入れながら新しい形でやってほしい。

#### <「選挙特番」について>

- \* 全国の大勢がわかった段階で、長々と東京から同じ放送を繰り返しやっているのは何か時間のむだなような気がする。

#### <「情熱大陸」について>

\*AR技術を使った未来テレビの話で、これが近未来のテレビだと楽観的にバラ色のテレビ像が描かれていた。視聴者が見たいものを見せるのがテレビだという哲学をストレートに言っている。「見たいもの」より「見せたいもの」という考え方がそもそもなければ、「教育」とか「教養」というのは成り立たない。テレビを娯楽としか考えていなければそうかもしれないが、果たしてそうなのか。それはテレビの一部の姿であって、テレビ全部の姿ではない。

#### <「報道特集」について>

\*いつも深い取材で、おもしろく拝見している。8月31日放送のアンマン事件。こういう調査報道的なものは、記者の思いが前へ出過ぎると、見ている人がついていけなくなるという危険性もはらむ。

\*すごく綿密に取材していて、良心的な貴重な報道番組だと思う。9月21日は、日中戦争の写真が出てきたと丁寧に取材していた。今、不安定な日中関係の中で相当勇気が要ったことと思う。こういうことに向き合おうとしている姿勢に好感が持てた。

\*この番組は、概して最後が暗い。笑いは要らないが、何か希望が持てるようにならないものか、重い感じがする。今回のJR北海道の特集でも、問題点がたくさんあるのは理解できたので、何か提案とか提言があればと思う。

#### <「サンデーモーニング」について>

\*9月8日、東京五輪の招致決定後の番組で、関口さんが安倍首相に汚染水の「アンダーコントロール」というややきつい質問をした。お祝いの後に失礼な質問をするのかとネットで炎上した。私は違和感なくこれを見終わったが、ネットで批判されていたのは、ある意味、恐ろしいと思う。

#### <「NEWS23」について>

\*メインキャスターの膳場さんは、落ち着いていて、手堅いイメージ。ただ、それはよさでもあるが、他局のキャスターと比べると個性をあまり感じない、それは弱点でもある。踏み込んだコメントによって膳場さんのキャラクターが垣間見えると、もっとおもしろくなる。そのへんに物足りなさを感じた。

\*この番組の一番のセールスポイントをどこに置いているのかよくわからない。この時間にしかニュースが見られない人に見てもらおうというのが主眼なのか、それとも膳場さんや岸井さんたちのようなコメンテーターの意見や、社会的背景とか原因の分析の、どちらが主眼なのかよくわからない。

#### <「報道全般」について>

\*8月、藤圭子さんが亡くなられた時の報道は、ちょっと行き過ぎじゃないかと思った。一世を風靡した歌手の藤圭子さんが亡くなったことは、普通でもショッキングなのに、報道の与える影響を考えて、伝え方は考慮すべきだ。

以上